

英米文学科同窓会 公開講座

マーケティング起点の組織変革

～新しい価値を生み続ける組織をどうつくるか?～

講師 松山 一雄氏 (アサヒビール株式会社 代表取締役社長)



1960年東京都生まれ。1979年青山学院大学文学部英米文学科入学。大学時代はESSでディベートに没頭し、全国大会3連覇、日米学生交換ディベート日本代表(写真左から2番目)として米国へ遠征、3年時は部長を務める。1983年卒業後、鹿島建設、サトーでの海外勤務を経て、1993年米国ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院MBAを取得。P&Gなどの外資系企業でマーケティングに携わった後、2001年サトーに復職、2011年代表取締役社長・CEO就任。2018年アサヒビールへ入社し、マーケティング本部長、2023年3月代表取締役社長就任、現在に至る。



本講演では、アサヒビール株式会社代表取締役社長の松山一雄氏をお迎えし、同社が取り組んできた企業風土改革と新たな価値創造への挑戦についてご講演いただきます。

アサヒビールでは、失敗を恐れ前例を重視する風土から脱却し、「お客さま(消費者)を真ん中に置く」マーケティングを起点とした変革を推進してきました。その過程では、組織内の意識改革や挑戦を後押しする仕組みづくりなど、多くの課題に直面しました。新たな取り組みに反対意見や試行錯誤も伴う中、どのように変革を進め、挑戦する文化を根付かせていったのかをご紹介します。

スーパードライ初のフルリニューアル、日本発・世界初の生ジョッキ缶や未来のレモンサワーの発売、「スマドリ」への取り組みなど、これまでの常識にとらわれない商品・サービスが次々に生み出された背景には、お客さまの声に向き合い、新たな価値を創造し続ける企業姿勢がありました。

また、大きな変革を推進する中で、経営トップとしてどのような覚悟を持ち、組織の力を引き出してきたのか。失敗や困難に直面した際の意思決定や、社員一人ひとりの挑戦を促すリーダーシップについても伺います。

「マーケティング起点の組織変革」をテーマに、アサヒビールにおける挑戦の軌跡と、困難や失敗を乗り越えながら組織をどのように変えてきたのか、さらに「世界で一番ワクワクする『ビール会社』」「100年後も愛され続ける『未来のビール会社』」を目指す今後の展望についてお聞かせいただきます。

日 時:2026年9月23日(水・祝) 11:00~12:30(10:30 開場)

会 場:本多記念国際会議場(17号館 6階)

参 加 費:500 イーゴpay(学生以下無料)(事前申込不要)

予め「イーゴpay」のダウンロードをお願いいたします。



問い合わせ先:青山学院大学英米文学科同窓会

E-mail :aogaku.eibun.alumni2020@gmail.com

FAX :03-3409-8975(大学部会事務局内)

同窓祭公式サイト →



英米文学科同窓会ホームページ →

